

# 叙勲 褒章

顕著な功績を挙げた人などに贈られる秋の叙勲・褒章と、危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、5人がその荣誉に輝いています。



瑞宝双光章  
(警察功労)  
及川 信さん(71)  
江刺区愛宕字境畑

昭和37年に県警入り。平成16年に退職するまで刑事部門で長く活躍。迅速で丁寧な捜査を心掛け、地域の治安維持に尽力されました。一関市大東町出身。



瑞宝单光章  
(消防功労)  
佐藤 隆巳さん(71)  
江刺区八日町

昭和34年、旧江刺市に入職。43年に消防署へ出向となり、以後36年間消防士として業務に従事しました。常に現場に駆け付けられるよう心掛け、職務に精励されました。



瑞宝单光章  
(消防功労)  
佐藤 辰男さん(74)  
水沢区姉妹町字内城

父親の勧めもあり昭和38年、旧水沢市消防団22分団に入団。「火災は予防が大切。地域から火事を出さない」を信条に、地域の防災活動に尽力されました。



瑞宝单光章  
(職業訓練功労)  
高橋 輝男さん(73)  
江刺区館山

昭和45年、父より高松水道工事店(現・㈱高松水道工業)を継承。55年に江刺高等職業訓練校配管科の講師となり、現在も訓練生の技術向上に貢献されています。



瑞宝单光章  
(消防功労)  
本庄 弘さん(79)  
水沢区字大町

昭和33年、消防団に入団。「助け合いの気持ちを大切に」を信条に、平成9年から旧水沢市消防団の副分団長を務めるなど、地域の消防活動に尽力されました。



経済産業大臣表彰  
**六三印刷水沢工場**  
環境対策と地域貢献

水沢区の六三印刷水沢工場(本社・東京都、島村信彦社長)の環境に対する取り組みなどが評価され、印刷産業環境優良工場表彰で経済産業大臣賞に輝きました。

同工場は、印刷時に発生する紙の廃棄量削減などの環境配慮活動を実践。そのほか、社を挙げた献血活動への取り組みや、異業種間連携による老人福祉施設への車椅子を寄贈するなど、業界の枠を超えた社会貢献活動が認められ、県内で初めての受賞となりました。



法務大臣表彰  
**千葉人権擁護委員**  
人権擁護の活動に貢献

水沢人権擁護委員協議会の千葉誠 常務委員(73)が、長年にわたる人権思想の普及などに功績が認められ、平成26年度法務大臣表彰を受賞しました。

4期(1期3年)にわたり人権擁護委員を務める千葉さんは、これまでの活動を振り返り「東日本大震災後に陸前高田、被災者の支援活動をしたことが印象に残っている。今後も人権擁護の活動に力を入れたい」と意欲を見せました。



厚生労働大臣表彰  
**総合水沢病院酒匂副院長**  
地域医療に尽力

総合水沢病院の酒匂 章 副院長(63)が国民健康保険事業への功績が特に顕著な国保関係功労者として、平成26年度厚生労働大臣表彰を受けました。

酒匂副院長は、昭和62年、旧水沢市国保総合水沢病院に整形外科医長として着任。以来、27年にわたり整形外科診療および理学療法治療に携わってきました。また、スポーツ傷害の疾病予防や治療にも尽力された功績が評価され、今回の大臣表彰につながりました。



ひ孫と握手し、うれしそうなカツミさん

り、94歳から独学で習字に取り組んだりと好奇心旺盛なキミエさん。この日、お祝いに駆け付けた家族や職員に「皆さんからご厚志いただき、ありがとうございます」と笑顔で感謝を述べました。

目に涙を浮かべ「元気でいてくれてうれしい」と、キミさんの長寿を喜びました。

## 後藤久次氏の前沢牛が農林水産大臣賞

10月2日、東京食肉市場で開催された「第43回全畜連肉用牛枝肉共進会」において、J A岩手ふるさとから出品した後藤 久次さん(69)の前沢牛が最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞しました。

北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から出品された150頭で審査が行われ、肉付きや肉質に加え脂肪の光沢も高い評価を獲得。見事栄冠に輝きました。後藤さんは「牛の健康を気遣って育てている。この受賞が仲間や後継者の励みになれば」と受賞の喜びを語りました。

## 祝 百歳おめでとう

市は、10月に満百歳を迎えた4人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

佐藤甲三子さん 前沢区字塔ヶ崎は衣川区旧殿に生まれ、20代で故・盛さんと結婚。3男1女をもうけ、孫6人、ひ孫2人に恵まれました。夫を早くに亡くし、清掃会社に勤めながら女手一つで子どもたちを育て上げました。90歳ころまでは一人暮らしをし、身の回りのことは全て自らこ



高橋キエ胆沢総合支所長より記念品を受け取るキミエさん

なしていたそうです。長女の久慈ルリさん(67)は「手先が器用で、まめな性格。長生きしてくれた母は家族の誇りです」と嬉しそうに笑顔を見せてくれました。

小野寺キミエさん 胆沢区小山字長根は同区に生まれ、20歳で故・善二さんと結婚。5男、2女をもうけ、孫18人、ひ孫20人に恵まれました。7人の子どもの育てるため、夫婦で農業に汗を流したそうです。80歳から自転車に挑戦した



長男の幸雄さんと共にとびきりの笑顔を見せるキミさん

渡邊カツミさん 胆沢区小山字上昼沢は同区に生まれ、18歳で故・正明さんと結婚。1男4女をもうけ、農業一本で子どもたちを育て上げ、孫7人、ひ孫10人、やしゃご2人に恵まれました。医者から「トラック運転手になれる」と言われるほど目が良いカツミさん。週2回のデイサービスでの入浴が大きいお気に入りです。この日は、お祝いに駆け付けてくれた孫やひ孫に囲まれ、幸せそうにほほ笑んでいました。